

平成 30 年度当初予算に係る審議を踏まえた

「意見・提言」

平成 30 年 3 月

京 都 府 議 会

平成30年度当初予算に係る審議を踏まえた「意見・提言」

【重点事項】

1 財政運営について

厳しい財政状況を踏まえ、府税をはじめとする自主財源の確保に努めるとともに、府債残高の適正管理など、健全な財政運営に一層取り組むこと。

2 共生社会の実現について

子どもの貧困対策、農福連携による障害者の就業支援や地域における介護福祉の充実など、子どもや障害者、高齢者など一人ひとりが互いに支え合い、活躍できる共生社会の実現に向けた取組を一層推進すること。

【部局別事項】

〈共管：企画理事、政策企画部〉

1 地域創生の推進について

地域創生を推進するため、「もうひとつの京都」事業をはじめ、各地域の資源や特色を活かした持続的かつ効果的な取組を、DMOなど多様な関係機関との連携のもと一層推進すること。

〈知事直轄組織〉

1 国際交流の推進について

友好提携先をはじめとする海外地域との交流に努めるなど、国際交流の取組を一層推進すること。

2 職員の人材育成について

複雑かつ多様な行政課題に的確に対応するため、ベンチャー型職員育成事業など、職員の能力発揮のための効果的な取組を一層推進すること。

〈総務部〉

1 市町村支援について

市町村未来づくり交付金の活用等により、府内市町村の実情や施策の成果に応じた効果的な支援に一層努めること。

2 府有資産の利活用について

府民の財産である府有資産については、府民のニーズを踏まえ、戦略的な利活用に努めること。

〈政策企画部〉

1 明治150年京都創生事業について

将来を見据えた人材の育成や文化産業の振興につながるよう、関係機関と連携し、京都の歴史を踏まえた効果的な取組を進めること。

2 データの活用について

市町村とも連携し、オープンデータや統計情報をはじめ、様々なデータを活用して政策立案を行う人材の育成や、行政データのオープン化を含むデータ活用の機会拡大に努めること。

〈府民生活部〉

1 女性の活躍推進について

地域や職場で女性が一層活躍できるよう、輝く女性応援会議（地域会議）や京都ウィメンズベース、マザーズジョブカフェによる支援を一層充実するなど、きめ細やかな取組を推進すること。

2 地域防災力の強化について

市町村との連携のもと、消防団員の加入促進や実効性のある防災訓練の実施など、地域防災力の強化に努めること。

3 脱ひきこもり支援について

ひきこもりからの自立を支援するため、実態調査の結果を踏まえ、関係機関と連携し、きめ細やかな取組を推進すること。

〈文化スポーツ部〉

1 スポーツの振興について

ラグビーワールドカップ2019、2020年東京オリンピック・パラリンピック、ワールドマスターズゲームズ2021関西と3年連続して開催される国際大会を契機に、地域の活性化につながるよう、スポーツ振興の取組を進めること。

2 文化芸術の力を活用した地域活性化について

府立植物園をはじめ、北山文化環境ゾーンの整備を推進するとともに、文化芸術の力を活用した地域活性化の取組を進めること。

3 府立医科大学・府立大学への支援について

府北部地域の医療を支える府立医科大学附属北部医療センターの医療提供体制や施設の充実、府立大学の和食文化学科（仮称）開設など、両大学がその役割を十分に果たすことができるよう、必要な支援に努めること。

〈環 境 部〉

1 エネルギー政策の推進について

太陽光発電設備の導入の促進など、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた取組を一層推進するとともに、将来を見据えた新たなエネルギー施策の推進に一層努めること。また、太鼓山風力発電事業については、民間事業者への円滑な移行に努めること。

2 自然環境保全の推進について

自然公園等を活用した環境学習の取組を促進するなど、府内の優れた自然環境保全を図るための施策を推進すること。また、外来生物については、隣接府県と連携し、対策を進めること。

3 廃棄物対策の強化について

産業廃棄物等の不法投棄を防止するため、監視や指導の強化を図るとともに、事業者の3R（発生抑制・再使用・再生利用）の取組を関係機関との連携を図りながら促進すること。また、海岸漂着物への対策を推進すること。

〈健康福祉部〉

1 総合的な少子化対策について

子育て世帯の経済的負担軽減や安心して子育てができる環境の整備を図るなど、府民のニーズに即した施策を展開し、総合的な少子化対策を一層推進すること。

2 医療提供体制の充実について

どの地域においても、府民が安心して必要な医療を受けられるよう、地域医療を支える医師、看護師をはじめとする人材の確保や救急医療体制の更なる整備を図ること。また、総合的ながん対策を一層推進すること。

〈商工労働観光部〉

1 中小企業の人材確保・雇用対策の推進について

人手不足に苦しむ中小企業の人材採用・育成支援や就労環境の改善などの人材確保対策を強化するとともに、ブラックバイト対策や、就職の難しい若者及び障害者などの雇用対策の推進に努めること。

2 京都産業の発展について

京都産業の活性化を図るため、生産性向上やイノベーション、人材育成や技術継承など、ものづくり産業や伝統産業に対する支援を一層推進するとともに、金融・経営支援などの中小企業支援を充実すること。

3 観光・商店街振興について

急増する外国人観光客などを地域に呼び込み消費拡大を図るため、優良な宿泊施設の確保をはじめとした受入環境整備や国際クルーズ誘致などによる観光誘客を進めること。また、地域の特性を活かした商店街の活性化に向けた取組を一層推進すること。

〈農林水産部〉

1 ブランド産品などの京都産農林水産物の振興について

京野菜や京都産和牛などの生産支援やブランド力の向上に努め、国内外に向けた販路及び消費の拡大を図ること。

2 農業・農村の振興について

新規就農者をはじめとする多様な担い手確保の支援を図るとともに、集落営農の促進や農業経営の強化に取り組むこと。また、地籍調査を着実に進めること。

3 有害鳥獣被害対策について

鳥獣による農作物被害の更なる削減に向けて、防護柵の整備や狩猟の担い手育成など、効果的な取組を一層推進すること。

4 食育の推進について

学校等への専門家や農家等の派遣や農作業・調理体験などの取組により、食育を一層推進すること。

〈建設交通部〉

1 防災・減災対策について

頻発する集中豪雨や南海トラフ地震等の大規模災害に備えるとともに、府民の安心・安全を確保するため、地域の実情に応じた河川改修などの総合的な治水対策を推進すること。また、緊急輸送道路沿道建築物の耐震化を計画的に促進するなど、防災・減災対策の強化を図ること。

2 道路等社会基盤の整備について

地域の活性化や利便性向上、府民の安心・安全の確保のため、国、市町村等と連携の上、道路や橋梁等の社会基盤の整備を促進するとともに、計画的な維持管理に努めること。

3 地域公共交通の取組について

府民生活の利便性の向上を図るため、地域の実情に応じた公共交通の運営・維持に向けた取組を推進するとともに、鉄道駅舎のバリアフリー化等の整備を関係機関と連携の上、着実に推進すること。

4 府内の住宅環境の整備について

住宅耐震化を積極的に促進するとともに、府営住宅の整備や適正な維持管理に努めるなど、多様な府民のニーズに応じた住宅環境の整備を推進すること。

〈教育委員会〉

1 教職員の働き方改革について

外部人材の活用による部活動支援をはじめ、教職員の負担軽減となるよう教育環境の整備に努めること。

2 府立高校の充実について

地域の実情を踏まえた特色と魅力ある取組を推進するなど、高校教育の充実に一層努めること。

3 グローバル人材の育成について

小・中学校の英語教育の充実や、高校生の海外留学支援など、国際社会で活躍できるよう、グローバルな人材育成のための取組を一層推進すること。

4 特別支援教育の充実について

特別支援教育の一層の充実を図るため、新設校の着実な整備に努めるとともに、障害のある児童生徒や保護者のニーズに応じた取組を進めること。

5 子どもの学力対策について

個々の課題に応じた効果的な指導など、関係機関との連携のもと、学力向上に向けた取組の充実を図ること。

6 いじめ対策について

早期発見・早期対応や子どもたちの実態に合わせた相談体制の拡充など、総合的なサポート体制の充実を図ること。

7 文化財保護対策について

貴重な文化財を後世に引き継ぐため、保存や修理に必要な人材の育成など、引き続き文化財保護対策の充実を図ること。

〈公安委員会〉

1 交通安全対策について

交通安全教室などの高齢者対策をはじめ、交通事故防止の取組を一層推進すること。また、交通安全施設の効果的な整備など、交通安全対策の一層の推進を図ること。

2 生活安全対策の推進について

少年非行防止に向けた取組や、ストーカー犯罪、特殊詐欺等への対策を強化することにより、府民の安心・安全を守るための犯罪抑止対策を推進すること。

3 警察署、交番等の整備・充実について

府民の安心・安全の要である警察署、交番等については、地域の実情を踏まえながら、計画的な整備や機能の充実に一層努めること。